



**子どもの頃からの予防メインテナンスが、
10年、20年先の口腔内を変える!**

**私たちちは未来を見つめて
ケアしています**

宮田歯科池袋診療所で働く小川さんと小林さんは、
「子どもの歯を守るために、将来を見据えて予防をしていかなければ!」と
日々奮闘しています。

そんなお二人が、子どもの患者さんへのメインテナンスに
拘ってすすめているのがトリートメントケアです。

子どもの頃から続けることで、どのようなことがあるのでしょうか?

●(医)弘進会 宮田歯科池袋診療所/東京都●

「10年先もこの子のためになる」と
胸を張って言えるケアを行なっています

小川由美子さん
(臨床歴25年)



何も治療をしていない子どもの歯つて、本当にきれいですね。真っ白で、グリヤーのある天然歯を見ていると、「お年寄りになるまで大事にしてもらいたい」とつくづく思います。だから、微粒子のものであってもクリーニングのたびに研磨剤を使うことなどでも抵抗があつたんです。唾液で再石灰化するとはいえ、傷をつけているのは事実ですから……。よく雑誌に載っている、研磨を繰り返してザラザラになつた歯面がいつも頭をよぎっていました。

そういう不甲斐ない気持ちに応え

てくれたのがトリートメントケアです。エナメル質に栄養を与えて強化すると、齒にダメージがないのはもちろん、健康な状態にできるのがすごい——これなら「10年先もこの子のためになるケアです」と胸を張れます。

そこでさうそく取り入れたのが、3歳から通つているKちゃんです。もともとむし歯が多く、このままリスクの高い状態が続いてしまうことが心配でした。大人の歯は絶対にむし歯にするわけにはいかない。そう思つて永久歯に生え変わるタイミングで予防に本腰を入れて取り組んでもらうことにしてたんです。トリートメントケアの効果がどう出るの

か、私も楽しみでした。

数ヶ月続けると歯にツヤ感が増し、口腔内のブラークも少なくなりましたね。その変化は誰が見てもわかるくらいですよ。彼女自身もそれがすごくうれしかったみたい。「この前ね、友達から歯がキレイって言われたの」「このまま、大きやー」と喜んでくれました。

周りから褒められて、自分から予防しようとする気持ちが芽生えたのかセルフケアも一段と熱心に。ブラッシングも上手になつてきてます。これからもずっとKちゃんが自慢の歯でいられるように、しっかりサポートしていくたいです。

お子さんとご両親と私。
力を合わせて守つていくために
会話する時間を何より大切にしています

子どもの歯を守るには、本人はもちろん、お父さんお母さんの協力が欠かせません。以前、きちんと磨いていると、言うけれど、歯肉がぶくぶくになっちゃつてる子がいたんです。お母さんに

お家の様子を注意して見てもらうと、磨いた後におやつを食べていたみたい。子どもだけではなくて自己管理できないからこそ、第三者で会話をする時間が必要なんです。

とはいって、プロフェッショナルケアだけで予約時間が過ぎてしまうことも。クリーニングの時間を短くできたら……。そう思つてトリートメントケアをしてみましたが、すると次の来院では、着色も時間がかけずにスルッと落ちるようになつたんです。そこで余つた時間を、お子さんとご両親との会話にあてられるようになりました。

てくれました。お子さんに理由を聞いてみると、「テレビが見たいしめんどくさい」とのこと。「それならCMの時間にちょっとずつやつてみない?」と提案しました。これつてじつくり話す時間があるからこそ気づけることですよね。そうやって原因を聞きだして、ちゃんとケアできるようにするのが私の役目。今、きちんと習慣してもらえば10年、20年先の口腔内を守ることにつなげられます。子どものむし歯予防は家族みんなで行なうものだから、ご両親ともなんでも話せる関係性を築けるようにしていきたいですね。

小林啓子さん
(臨床歴11年)



お子さんとご両親と私。
力を合わせて守つていくために
会話する時間を何より大切にしています

子どもの歯を守るには、本人はもちろん、お父さんお母さんの協力が欠かせません。以前、きちんと磨いていると、言うけれど、歯肉がぶくぶくになっちゃつてる子がいたんです。お母さんに

お家の様子を注意して見てもらうと、磨いた後におやつを食べていたみたい。子どもだけではなくて自己管理できないからこそ、第三者で会話をする時間が必要なんです。

とはいって、プロフェッショナルケアだけで予約時間が過ぎてしまうことも。クリーニングの時間を短くできたら……。そう思つてトリートメントケアをしてみましたが、すると次の来院では、着色も時間がかけずにスルッと落ちるようになつたんです。そこで余つた時間を、お子さんとご両親との会話にあてられるようになりました。

てくれました。お子さんに理由を聞いてみると、「テレビが見たいしめんどくさい」とのこと。「それならCMの時間にちょっとずつやつてみない?」と提案しました。これつてじつくり話す時間があるからこそ気づけることですよね。そうやって原因を聞きだして、ちゃんとケアできるようにするのが私の役目。今、きちんと習慣してもらえば10年、20年先の口腔内を守ることにつなげられます。子どものむし歯予防は家族みんなで行なうものだから、ご両親ともなんでも話せる関係性を築けるようにしていきたいですね。